

一億総活躍国民会議（意見交換会）

意見交換会 [「会議」官邸](#)・ [国民会議別項「会議」官邸](#)

首相官邸 政策会議

内閣官房 一億総活躍推進室 〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1 内閣府本府 TEL.03-5253-2111（代表）

我が国の構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」に向けたプランの策定等に係る審議に資するため、「一億総活躍国民会議」が設置されました。

一億総活躍国民会議の開催について

平成27年10月21日 内閣総理大臣決裁

1. 趣旨

我が国の構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、「希望を生み出す強い経済」、「夢を紡ぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」に向けたプランの策定等に係る審議に資するため、一億総活躍国民会議（以下「国民会議」という。）を開催する。

2. 構成

国民会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。

3. その他

- （1）国民会議の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣官房において処理する。
- （2）前各項に定めるもののほか、国民会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

〔別紙〕

議長 安倍晋三 内閣総理大臣

議長代理 加藤勝信 一億総活躍担当大臣

構成員 菅 義偉 内閣官房長官

甘利 明 経済再生担当大臣

内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

石破 茂 地方創生担当大臣

高木 毅 復興大臣

高市早苗 総務大臣

麻生太郎 財務大臣
馳 浩 文部科学大臣
塩崎恭久 厚生労働大臣
森山 農林水産大臣
林 幹雄 経済産業大臣
石井啓一 国土交通大臣
(有識者)

飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構准教授、医師
大日方邦子 日本パラリンピアンズ協会副会長
菊池桃子 女優、戸板女子短期大学客員教授
工藤 啓 認定特定非営利活動法人育て上げネット理事長
榊原定征 日本経済団体連合会会長
白河桃子 相模女子大学客員教授、ジャーナリスト
高橋 進 日本総合研究所理事長
対馬徳昭 社会福祉法人ノテ福祉会理事長
土居丈朗 慶應義塾大学経済学部教授
樋口美雄 慶應義塾大学商学部教授
増田寛也 東京大学公共政策大学院客員教授
松爲信雄 文京学院大学人間学部教授
松本理寿輝 まちの保育園代表
三村明夫 日本商工会議所会頭
宮本みち子 放送大学副学長

[関係会議]

「一億総活躍社会」づくりに関する関係府省庁連絡会議 平成27年10月19日(月)

第1回 一億総活躍国民会議 平成27年10月29日(木) 別項

一億総活躍社会に関する意見交換会 第1回 平成27年11月 5日

一億総活躍社会に関する総理と20代若者との懇談会 平成27年11月6日

第2回 一億総活躍国民会議 平成27年11月12日(木) 別項

一億総活躍社会に関する意見交換会 第2回 平成27年11月17日

一億総活躍社会に関する意見交換会 第3回 平成27年11月18日

一億総活躍社会に関する総理と介護を行っている方との懇談会 平成27年11月25日(水)

第3回一億総活躍国民会議 平成27年11月26日(木) 別項

「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策－成長と分配の好循環の形成に向けて－」について 平成27年11月26日(木)別項

一億総活躍社会に関する意見交換会 第1回

平成27年11月5日(木) 10:00-11:00 合同庁舎8号館一億総活躍担当大臣
応接室

[出席者]

加藤勝信 一億総活躍担当大臣

高鳥修一 内閣府副大臣

(一億総活躍国民会議有識者構成員)

飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構准教授、医師

大日方邦子 日本パラリンピアンズ協会副会長

菊池桃子 女優、戸板女子短期大学客員教授

白河桃子 相模女子大学客員教授、ジャーナリスト

高橋 進 日本総合研究所理事長

増田寛也 東京大学公共政策大学院客員教授

松為信雄 文京学院大学人間学部教授

松本理寿輝 まちの保育園代表

(意見交換対象有識者)

小林雅之 東京大学大学総合教育研究センター教授

安永愛香 社会福祉法人どろんこ会理事長

渡辺由美子 NPO法人キッズドア理事長

○加藤一億総活躍担当大臣 あいさつ

おはようございます。

今日は大変お忙しい中、有識者、経験のある方々においでいただきました。また国民会議のメンバーの皆さん方にも御参集いただきまして、改めて御礼申し上げたいと思います。

御承知のとおり、安倍政権では、少子高齢化という構造的な問題に取り組んでいくということで、高齢者の方、若い人、女性男性、また障害、難病等、課題がある方々を含めて国民の一人一人に家族、家庭の中において、あるいは職場において、また地域社会において今より一歩前に踏み出していただく。そういう社会を実現していこうということで、一億総活躍社会の実現を目指して取り組ませていただいております。

具体的には、御承知のようにGDPで600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロという具体

的な目標に向けて強い経済、子育て支援、社会保障と新たな三本の矢を吹き込むことによって経済が回り、そしてそれを支える安定的な基盤をつくり、またその安定的な基盤が経済の発展につながる。こういう好循環をぜひつくっていきたいということで取り組んでいるところであります。

先月末に第1回の国民会議を開催いたしまして、今月末には緊急に取り組むべき政策を取りまとめていく。また来年の春に向けて日本一億総活躍プランをつくる。こういう道筋で今、進めさせていただいておりますけれども、この審議においては、国民会議にはもちろんいろいろな各般、各層の方々にも御参加いただいているのですが、さらに現場においていろいろ経験を積んでおられる方、また御意見がある方にこうしておいでいただきまして、そうした方々の御意見もしっかりと取り入れ、また意見交換を通じてさらに議論を深めていきたいと思っております。

今日はその第1回ということでございまして、子育てを取り巻くいろいろな諸課題がございまして。こうした問題についてぜひ意見交換を、また皆さん方がお持ちの様々な御意見をこの機会に伺わせていただきたいと思いますと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

議事要旨

資料

資料1：[安永愛香 社会福祉法人どろんこ会理事長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料2：[渡辺由美子 NPO法人キッズドア理事長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料3：[小林雅之 東京大学大学総合教育研究センター教授 配付資料 \(PDF\)](#)

一億総活躍社会に関する意見交換会 第2回

平成27年11月17日(火) 13:30~15:30 合同庁舎4号館1214特別会議室

意見交換対象者からの発言・意見交換

(1)介護／予防／高齢者雇用(13:30~14:30目途)

○加藤忠相 株式会社あおいけあ代表取締役、NPO法人ココロまち理事長、慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師

○久野譜也 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授、スマートウェルネスシティ首長研究会幹事

○平野茂夫 株式会社マイスター60取締役会長

○前田展弘 東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員、ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員

○來海 寿己 柏シルバー人材センタージョブコーディネーター

(2)がん／障害者・障害者雇用(14:30～15:15目途)

○鈴木美穂 日本テレビ社会部記者、NPO法人マギーズ東京共同代表

○高橋秀章 株式会社アイエスエフネットニュービジネス推進室長

○竹中ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長

(3)教育費負担(15:15～15:30目途)

○松田茂樹 中京大学現代社会学部教授

[出席者]

加藤勝信 一億総活躍担当大臣

高鳥修一 内閣府副大臣

(一億総活躍国民会議有識者構成員)

飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構准教授、医師

大日方邦子 日本パラリンピアンズ協会副会長

白河桃子 相模女子大学客員教授、ジャーナリスト

高橋 進 日本総合研究所理事長

刈馬徳昭 社会福祉法人ノテ福祉会理事長

(意見交換対象有識者)

加藤忠相 株式会社あおいけあ代表取締役、NPO法人ココロまち理事長、慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師

久野譜也 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授、スマートウェルネスシティ首長研究会幹事

平野茂夫 株式会社マイスター60取締役会長

前田展弘 東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員、ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員

來海寿己 柏シルバー人材センタージョブコーディネーター

鈴木美穂 日本テレビ社会部記者、NPO法人マギーズ東京共同代表

高橋秀章 株式会社アイエスエフネットニュービジネス推進室長

竹中ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長

松田茂樹 中京大学現代社会学部教授

○加藤担当大臣あいさつ

一億総活躍担当の加藤でございます。今日は5人の皆さん方、大変お忙しい中、この意見交換会に御参加を頂きまして心から御礼を申し上げたいと思います。

また、国民会議の有識者の皆さん方にもこうして御参加いただきまして、ありがとうございます。

御承知のとおり、安倍総理は少子高齢化という構造的な問題を乗り越える中で、日本の

未来を切り開いていこう。そして、その中でいわゆる一億総活躍社会、高齢者も若い方も、女性も男性も、障害や難病等を抱える方々、一度、二度失敗した方も、地域や職場や家庭においてそれぞれの夢の実現に向けてもう一步踏み出していける社会、それを一億総活躍社会とイメージして、その実現に向けて取り組んでいくということを、その意思を申し上げたところであります。

具体的にはいわゆる新三本の矢ということで、希望を生み出す強い経済、夢を紡ぐ子育て支援、安心につながる社会保障という中で、戦後最大のGDP600兆円、希望出生率1.8、介護離職者ゼロという3つの具体的な目標を掲げて今、取り組もうとしているところでございます。

一億総活躍国民会議も10月29日に立ち上げさせていただきまして、まずは今月末を目途に緊急に対処すべき施策を取りまとめし、来年春に向けてこれからのロードマップである日本一億総活躍プランをつくっていこうということで、御審議を頂いているところであります。

国民会議でのもちろん議論もありますが、やはりそれぞれの現場あるいはそれぞれの分野を非常に専門にされている方々から広く意見を聞き、また、相互に意見交換をする中でその議論を深めていきたいということで、今日はこうした機会をつくらせていただいたところであります。

今日は特に3部構成になっておりまして、第1部においては介護ということで予防あるいは高齢者の雇用ということで、今日まず最初に5人の方から約1時間、意見交換会をさせていただき、第2部としては、まさにがんあるいは障害を抱えている方々への対応、また、障害者の雇用といったことに対して3人の方から御意見を聞き、そして最後には教育費の負担も大きな問題であります。それについても意見交換をする。トータルでは約2時間の意見交換会を予定しているところでございますが、まず第1部としては介護に関する予防や高齢者雇用については是非とも御議論を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

議事要旨

資料：

資料1：[加藤忠相 株式会社あおいけあ代表取締役、NPO 法人ココロまち理事長、慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師 配付資料 \(PDF\)](#)

資料2：[久野譜也 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻教授、スマートウェルネスシティ首長研究会幹事 配付資料 \(PDF\)](#)

資料3：[平野茂夫 株式会社マイスター60 取締役会長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料4：[前田展弘 東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員、ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員 配付資料 \(PDF\)](#)

資料5：[鈴木美穂 日本テレビ社会部記者、NPO 法人マギーズ東京共同代表 配付資料 \(PDF\)](#)

資料6：[高橋秀章 株式会社アイエスエフネットライフニュービジネス推進室室長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料7：[竹中ナミ 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料8：[松田茂樹 中京大学現代社会学部教授 配付資料 \(PDF\)](#)

一億総活躍社会に関する意見交換会 第3回

平成27年11月18日(水) 13:30～15:30

合同庁舎4号館1214特別会議室

意見交換対象者からの発言・意見交換

(1) 女性活躍／ひとり親(13:30～14:15目途)

○副島三記子 株式会社資生堂執行役員

○本多由紀 株式会社資生堂人事部ビジネスパートナー室長

○西村幸 リバー・ゼメックス株式会社社長

○山屋理恵 特定非営利活動法人インクルいわて理事長

(2) 少子化対策・子育て(14:15～14:45目途)

○中橋恵美子 NPO法人わははネット理事長

○加藤彰彦 明治大学政治経済学部教授

(3) 働き方(有識者／採用／労務)(14:45～15:30目途)

○佐藤博樹 中央大学大学院戦略経営研究科教授

○島原由里子 オタフクホールディングス株式会社人事部部長

○中畑英信 株式会社日立製作所執行役常務・CHRO兼人財統括本部長

○武内和子 株式会社日立製作所人財統括本部ダイバーシティ推進センタ部長代理

[出席者]

加藤勝信 一億総活躍担当大臣

高鳥修一 内閣府副大臣

(一億総活躍国民会議有識者構成員)

菊池桃子 女優、戸板女子短期大学客員教授

白河桃子 相模女子大学客員教授、ジャーナリスト

松本理寿輝 まちの保育園代表

(意見交換対象有識者)

副島三記子 株式会社資生堂執行役員

本多由紀 株式会社資生堂人事部ビジネスパートナー室長

西村 幸 リバー・ゼメックス株式会社社長

山屋理恵 特定非営利活動法人インクルいわて理事長
中橋恵美子 NPO法人わははネット理事長
加藤彰彦 明治大学政治経済学部教授
佐藤博樹 中央大学大学院戦略経営研究科教授
島原由里子 オタフクホールディングス株式会社人事部部長
中畑英信 株式会社日立製作所執行役常務・CHRO兼人財統括本部長
武内和子 株式会社日立製作所人財統括本部ダイバーシティ推進センタ部長代理

○加藤担当大臣あいさつ

今日はそれぞれお忙しい中、お時間を割いていただきまして、ありがとうございます。
一億総活躍担当大臣をしております加藤勝信でございます。
また、国民会議の委員の先生方にもこうして御出席を賜りまして、ありがとうございます。
もう申し上げるまでもなく、安倍政権においては、少子高齢化という構造的な課題に取り組む、そういう中で一人一人が活躍できるそうした社会、女性の方も男性の方も、高齢者も若い方も、また障害者や難病を抱える方々も、一度失敗した方も含めて、それぞれのフィールドの中で活躍できる一億総活躍社会の実現を図っていききたいということで、これまでの三本の矢に加えて、改めて新三本の矢ということで、経済、子育て支援、そして社会保障という3つの矢に対して、それぞれ戦後最大の GDP600 兆円、希望出生率 1.8、介護離職ゼロという具体的な目標に向けて、今、取り組んでいるということで、国民会議を中心に議論していただいているわけでありますけれども、そうした中で、またそれぞれの分野分野で実際に様々な取り組みをされている方、また大変深い見識、知見を持っている方々にもこうしておいでを頂きまして、意見を交換していただいて、またそれを今月末に予定しております緊急に取り組むべき施策、あるいは来年の春に向けての一億総活躍プラン、これからのロードマップということでありますけれども、そうした作成につなげていききたいということで、今日はこうしておいでいただいたところでございますので、どうかそうした趣旨を踏まえていただきながら、また御協力をいただけたら大変有り難いと思いますので、ひとつよろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございます。

[議事要旨](#)

資料

- 資料 1 : [副島三記子 株式会社資生堂執行役員、本多由紀 株式会社資生堂人事部ビジネスパートナー室長 配付資料 \(PDF\)](#)
- 資料 2 : [西村幸 リバー・ゼメックス株式会社社長 配付資料 \(PDF\)](#)
- 資料 3 : [山屋理恵 特定非営利活動法人インクルいわて理事長 配付資料 \(PDF\)](#)
- 資料 4 : [中橋恵美子 NPO 法人わははネット理事長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料5：[加藤彰彦 明治大学政治経済学部教授 配付資料 \(PDF\)](#)

資料6：[佐藤博樹 中央大学大学院戦略経営研究科教授 配付資料 \(PDF\)](#)

資料7：[島原由里子 オタフクホールディングス株式会社人事部部長 配付資料 \(PDF\)](#)

資料8：[中畑英信 株式会社日立製作所執行役常務・CHRO兼人財統括本部長、武内和子 株式会社日立製作所人財統括本部ダイバーシティ推進センタ部長代理 配付資料 \(PDF\)](#)

一億総活躍社会に関する総理と20代若者との懇談会

平成27年11月6日（金）15：00～16：00 官邸4階大会議室

若者からの発言・意見交換

[出席者]

安倍晋三 内閣総理大臣

加藤勝信 一億総活躍担当大臣

塩崎恭久 厚生労働大臣

須藤聡美 埼玉大学経済学部経済学科 4年

水口麻那 上智大学外国語学部イスパニア語学科 4年

田中 啓 日本工学院専門学校 4年

青木光信 認定NPO法人 育て上げネット若年支援事業部

ユースコーディネーター(臨床心理士)

川崎由季子 内閣府子ども・子育て本部

小林陽菜 私立高等学校教員

清水拓摩 トヨタ自動車(株)

伊藤美緒 (学)中西学園名古屋製菓専門学校

加藤雄大 大手商社勤務

小林佐知 地域おこし協力隊(長野県長野市)

村上太一 株式会社リブセンス代表取締役社長

坪内知佳 株式会社 GIBLI(ギブリ)代表取締役

○安倍内閣総理大臣 あいさつ

皆さん、こんにちは。

安倍政権にとって大きな課題とする一億総活躍社会をつくっていくということを宣言したわけではありますが、先般、そのために国民会議をつくりました。我々は活力ある社会を次世代に引き渡していきたい。そういうことを申し上げているのですが、そういう会議等に次世代が入っていないのではないかという批判がございまして、今日はまさに次

の世代の皆さんにこうして参加していただきました。

ちょうど私が皆さんと同じぐらいのとき、日本の人口は1億1,000万人から2,000万人になっていったころでありました。高度成長ではないですけども、まだ活力を相当持っておりまして。この一億総活躍は絶対に頑張らなくてはいけないということではなくて、色々な立場の人たちがそれぞれの能力を活かすことができる、あるいは自分のやりたいことができる社会をつくっていくことなのです。若い皆さんもお年寄りも男性・女性はもちろんですが、障害がある人や難病がある人も、あるいは何回か失敗を重ねてきた人、そういった皆さんにもチャンスがあって、一歩前に出ることができる。それぞれのよさを発揮できる社会をつくっていく。そのためには、色々な障害がありますが、こういう障害を我々は取り除いていこうということになります。

今日は、皆さんに色々な立場で色々な経験をしてきていると思います。そういう皆さんから忌憚のない意見を、こういう雰囲気ではなかなか忌憚のない意見は言いにくいのですが、それを乗り越えて、忌憚のない意見を言っていただいて、実りある場にしていきたいと思います。

皆さんの意見を吸収しながら、政策の立案に活かしていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

[議事要旨](#)

一億総活躍社会に関する総理と介護を行っている方との懇談会

平成27年11月25日（水）15：20～16：30 官邸4階大会議室

介護を行っている方々からの発言・意見交換

[出席者]

安倍晋三 内閣総理大臣

加藤勝信 一億総活躍担当大臣

塩崎恭久 厚生労働大臣

石田芳子 専業主婦

金井龍太郎 (株)華輪(かりん)取締役

常盤文子 求職活動中

佐藤優子 保育士

須藤 拓 大成建設株式会社

師岡秀夫 「はなまる認知症家族介護者の会」代表

古川史美 専業主婦

岸 正晴 「よこすか若年認知症タンポポ」代表

○安倍内閣総理大臣あいさつ

皆さん、こんにちは。

今日はそれぞれいろいろと御多用の中、官邸までお越しいただきまして、ありがとうございました。

御承知のように、私たちは一億総活躍社会を目指すという大きな目標を掲げたわけですが、この中で一億総活躍のためには、介護離職ゼロを目指さなければならないという新たな的を設定したわけであります。なぜそういう的を設定したかといえば、今でも多くの方々が介護のために仕事を辞めざるを得ないという状況の中において、時には共倒れの状況にもなっていく。これはやはりそれぞれが自分の人生を構築していく上において大変大きなマイナスになるわけでありまして、日本全体にとっても、日本経済にとってもこれは大きなマイナスになるわけでありまして、将来、団塊の世代の皆さんが75歳を迎える中において、こういうケースがたくさん続出してくれば、日本の経済自体が大変な打撃を受けることにもなるわけでございます。こうした現状をしっかりと直視をしながら、今から介護離職ゼロに向けていこうということでございまして、もちろんこれは施設もしっかりと充実していく必要があるわけでありまして、施設だけではなくて、予防をしっかりとしていくことも含めて、あらゆる面からこの介護離職ゼロを目指していきたいと思っております。それによって日本人の人生はより豊かになっていくのではないかと、このように思います。

今日は、こうした目標に向かっていく上において、まさに地に足の着いた政策を推進していくという観点から、実際にそうした介護に当たっておられる皆様、かかわっておられる皆様に率直なお話をいただきまして、政策に反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

[議事要旨](#)